

近代日本を興した礎

# 明治天皇

## 第三十七回歴史講演会



■1912年(明治45年)7月30日、明治天皇がご崩御されました。英国首相アスキスは、「日本天皇陛下の如く一治世の短期間に、その国民ならびに世界人類のため、かく宏大にしてかつその必要かくべからざる進歩発展を成就し給いたる君主の名を挙ぐる事能わず。」と、国会で哀悼の辞を述べました。■ロシアの新聞も「吾々が幾多の苦痛をなめたにも関わらず、その崩御の日に際しては全ロシア国民は謹んで満腔の弔意を表すに躊躇せず。けだし敵味方たるを問わず偉人は依然として偉人であるからである。」と、その死を悼みました。敵味方なく、偉大なる君主と絶賛されたのが明治天皇でした。

■明治維新を成し遂げ、日本を近代国家たらしめ、欧米列強の植民地支配から国家の独立を守り抜いた偉大なる明治天皇。明治天皇百年祭にあたり、幕末、終戦時に続いて大変革を迫られている今だからこそ、改めて明治の御代を学ぶ必要があるのではないのでしょうか。



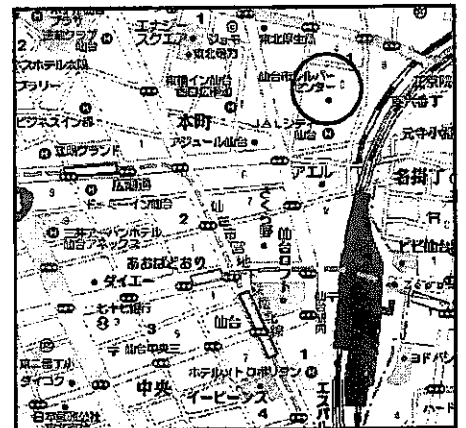
おかだ みきひこ

講師 岡田幹彦氏

(日本政策研究センター主任研究員)

■プロフィール

昭和21年、北海道生まれ。國學院大学中退、学生時代より日本の歴史および人物について研究を続け、月刊『明日への選択』に「上杉鷹山」「勝海舟」等を連載するとともに、各地で講演活動を行っている。



とき 11月3日(土・休) 午後2時～4時

ところ 仙台市シルバーセンター  
6階・第2研修室

参加費 一般1,000円・学生無料

主催 宮城ビジョンの会 Tel.022(285)3383

後援 宮城県教育委員会・産経新聞社東北総局・日本会議宮城県本部